

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	樫の木福祉会 多機能型事業所 わくわく		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・町との連携や小学校、養護学校との連携をします。	毎日の送迎時に先生と会い、直接話を聞いて情報共有を行います。また、定期的な会議にて情報を共有しています。必要に応じて電話でも学校、町と話を行います。統一した支援が出来るように心がけています。	わくわくだけでなく、先生や町がしっかりとサポートをしてくれることを保護者に理解していただき、安心が持てるように情報の共有や支援内容の話し合いを取り組みます。
2	・様々な学校、年齢の児童が過ごす場所なのでたくさんの学びがあります。	地域の小学校だけでなく、養護学校、少し離れた小学校と様々な児童が来ることで一人ひとりがたくさんの人に関わることが出来ます。その中で関わり方や遊びを楽しみ方を学べます。また、学校の大集団と違い小集団なのでここで力をつけ大集団の中へ入る突破口にもなります。	長期休みには地域の児童館や他の放課後等デイサービスと交流を行います。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会がないこと。	保護者同士の交流の機会をこれまで設けてこなかった。	保護者の方が集まれる機会を作り、お互いの困りごとや相談ごとなどを話し合えるようにしたいと思います。
2	・活動スペースに余裕がない時があること。	借りているスペースなので自由に使用が出来ない。	今後、わくわく単独の建物を持つ際には、充実した支援が出来るようにたくさんの工夫を取り入れたい。
3			